いわみざわ

IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地 OB会 岩見沢市日の出台1-3
印刷所 北海道立福祉村 空知郡栗沢町最上350 ☎(0126)45－2721

第9代 群長兼駐屯地司令着任

1等陸佐 鈴木通彦

活力とゆとりを

〈着任の辞〉

当部隊は、現在の北部方面総監志方陸将を輩出し、また、前寺村群長以下諸官の努力によって方面隊に伝統のある精強な部隊として有名を馳せており、私も、熱望してこの駐屯地に着任した次第であります。

当面の隊務は前群長の方針を受け、継続してまいりたいと考えておりますが、新たに次の点に着意しながら隊務を運営したいと考えております。

それは「活力とゆとり」ということであります。ひらたく言えば「やるときにはやる。休む時には休む」ということであります。

第一の「活力」と言う点については、私はもとより隊員の一人ひとりの目が輝いている。輝くと言うことは、軍が光ると書くわけですが、施設部隊らしい高い技術とこれを使うにあたっての工夫がなされ、訓練が終れば「やった」と言う充実感にあふれている事を意味します。これが、次のステップにつながって行く事も必要です。

上から言われた訓練のみならず、その中にも一つ一つのアイデアが反映されて、全員が参画し、それぞれが充実感に溢れ、やりがいのあるようにしたいと考えております。

方面隊でも「訓練評価支援センターTESC」や八月末の「ビッグレスキュー91」という訓練が注目を浴びつつ実施されているのは御承知のとおりだと思います。まさに、訓練や隊務を改革すべき時代です。

第二は、「ゆとり」と言う事です。来年は、土・日曜日がおそらく休みになるでしょう。

一年間の実質的な隊務は、従来二千百時間といわれていたものが一千八百時間に減ります。つまり、十五%減少する訳です。その分だけ充実感のある生活を楽しむ事が出来るようになりますが、その一方で、外出制度も定着し、中隊長や付准尉、営内班長それぞれの隊員のふれ合いの時間は益々減少するだろうと考えています。このため、工夫をしながら中隊のそれぞれがふれ合いの場を設けられるような、「中隊の日」を考えながら隊務を運営し、それらを通じて楽しくて、魅力があり精強な第十二施設群にしていきたいと考えています。

一緒に素晴らしい部隊にして行きましょう。！

寺村群長御栄転

平成元年八月から平成三年八月までの二年間、第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令として勤務された寺村群長は、数々の業績を残され、八月一日付で東千歳業務隊長として御栄転された。

在任期間　二年
新任地　東千歳業務隊長
住所　千歳市祝梅一〇一六

プロフィール

一等陸佐　鈴木通彦
（昭和21年8月26日生）
静岡県出身

★学歴
昭44・3　防衛大学　共13（土木）
49・3　防衛大学研究科　11
55・8　指揮幕僚課程
63・3　幹部高級課程

★主要経歴
昭45・3　三等陸尉（少尉）任官
45・3　第十施設大隊少隊長
49・3　航空学校教官
50・7　第一〇一測量大隊
52・8　技研（四研）
55・8　東北地区補給処
56・8　陸幕防衛課
63・4　陸幕調査一課
平1・8　北部方面総監部防衛課長
3・8　群長兼駐屯地司令

★趣味
ゴルフ、バトミントン、野球

★嗜好
酒、ビール等

「ビッグレスキュー'91」

野外における緊急医療の実施要領を総合的に演練するビッグレスキュー91が平成3年8月23日(金)から9月1日(日)の間、北海道大演習場島松地区で実施されます。

この訓練及び見学会に岩見沢、三笠、月形、栗沢及び北の市町村民の参加が予定されています。

● 年金と医療保険のパイオニア
● 生涯の保障に終身保険（明朝）
頭金制度により毎月安い
保険料で大きな安心
東邦生命
担当 深沢 隆子 （内327）

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 15 50 100
担当：田村純子・江藤早苗
更新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料頭金制度をご利用ください。
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：　三谷栄一
TEL：0126－22－3445

隊友会岩見沢支部

平成三年度 通常総会開催　四十五名出席

「正会員一〇〇％会費納入報告」平成三年四月二十八日十三時十五分から岩見沢観光ホテルで平成三年度通常総会を開催した。

四十五名の出席の下、まず始めに国歌斉唱、黙祷を行なった後、会長から挨拶があり「今こそ我々隊友会が結束して会の発展に寄与すると共に国際情勢を見つめて関心を高めていくことが必要である。」と総会の前に、当会に功績のあった方がたの表彰が行なわれた。

総会は、議長を小林氏に指名され、平成二年度の事業報告、収支決算報告、監査報告が行なわれ全会一致で承認された。続いて平成三年度の事業計画並びに収支予算（案）が提示され、案通り全会一致で採択された。また、任期満了による役員改選については、あらかじめ選考委員会において選考された九名（九名すつ改選する）を発表し意見をもとめた結果、全会一致で承認される。なお、役員のそれぞれの役職については、役員会議で決定する旨、報告があり決定次第皆さんにお知らせするとのことであった。

全員の協力により総会は順調に経過し、予定時間より早く進み、十四時三十分終了した。

十六時十五分までそれぞれ入浴してくつろいだ後、岡本業務隊長以下十三名の来賓を迎えて、記念撮影をした後、懇親会となった。

一年に何回も顔を合わせない人達ばかりでありそれぞれ懐かしく語りは尽きない懇親会となった。

長崎　記

来賓を迎えて記念撮影

歓談のひとときを

桜の植樹に参加して

四月二十日十三時から駐屯地で桜植樹が行なわれ、隊友会も協賛した。

植樹に十七名が参加して、その中には、明日選挙という「安藤副支部長」も参加されそれぞれ植樹をしたが生憎当日は雨模様の天気だったので合羽を着て長靴姿の服装となった。また、この場所は粘土のため、靴は二倍の大きさとなりお互いに在隊間の味わいを噛みしめながらの作業であった。

参加者の願いは、この桜が我々が生きている間に咲いて欲しいものだなぁ・・・と、司令のお話によると今後自分が植えた桜は自分で管理するようにしてもらいたいとのことであった。皆さんも時々は自分が植えた桜はどうなっているか、確認してください。

長崎　記

立派に桜が育つのを念じて

司令から隊友会長へ植木授与

戦技競技会を見学して

五月十二日南恵庭で十二施設群が戦技競技会を実施、隊友会も招かれて七名が見学する機会を得た。

午前九時にはマイクロバスで出発した。われわれのほかに家族なども一緒になり多数の人が参加した。

十時三十分ごろ訓練現場に到着、既に十時から架橋作業が始まっており、各中隊は懸命に時間を競っていた。このような訓練を見ていると昔が懐かしく思い出される。

十一時三十分ごろから炊事競技で作った食事をみんなで御馳走になる。

この後、一三時ごろまで山菜取りに出かける。「タランボ」が主であったが、みんながそれぞれビニール袋が膨らむほどたくさん取れていた。

また、更に取ってあった山菜を皆さんにお土産として頂き皆さんは、大変喜んでいた。

十三時からラッパ競技会が始まっておりわれわれは、見学する。一人ひとりの競技のため、みんなの前とあってかプレッシャーもあるのか、音のでないものもあり、見ていて可愛そうになるものもいたがこれが競技というものであろう。

この後、戦車試乗があり戦車五台に分乗して約二キロの試乗を行なった。

今回の訓練見学に参加して感じたことは、忙しい中を司令以下何かと気遣いをされ、一部終始にわたりお世話になり参加者一同感激していた。

当日は、天気が心配されたが、だれの精進がよかったのか良い天気になり何よりであった。

この訓練を目の当たりにした参加者及び家族の人は、隊員がどのような訓練をしているか、理解したと思われる。

長崎　記

架橋競技に励む隊員

炊事競技で出来た昼食をごちそうになる

中東戦争について考える

隊友会岩見沢支部
副支部長　長崎　進

我が国は、石油を九十九・七％外国の石油産出国に頼らなければ生きていけない消費国である。そして我が国の原油の七十％以上を依存する中東地域では、第二次世界大戦後も戦争が多く発生し、国際的に政情不安定な状況が続いている。

一九七三年の第一次石油危機、一九八〇年から一九八八年まで続いたイラク・イラン戦争、一九九〇年八月二日から始まったイラク軍のクウェート侵攻により引き起こされた湾岸戦争などは、石油供給問題を通して世界に大きな影響を与えている。

中東諸国の政情が安定しないのは、第一次世界大戦後、当時この地を支配していたオスマン帝国が解体したときに現在の国境が英国、フランスの手によって、人為的に設定されたものである。

また、それらのアラブ諸国の中に第二次世界大戦後、ユダヤ人の国家であるイスラエルが建国されたことなどによる。

このような、歴史的背景を持つ上に、この地域に世界の七十％近くの石油資源が存在していることが、事態を一層複雑なものにしている。

第一次石油危機は、一九七三年第四次中東戦争に際して、アラブ産油国の石油供給削減により、また、第二次石油危機は、一九七九年のイラン革命による石油生産の減少により発生している。いずれの場合にも、石油価格は大幅に上昇し、市場は大混乱をしたのである。

消費国は、このような経験から、危機に対する対策を進め、第一次石油危機後、国際的にはＩＥＡ（国際エネルギー機関）を創設し、九十日分の石油備蓄を計り石油の不足した加盟国には、お互いに融通し合うことなどを取り決めている。今回のような湾岸戦争においては、石油ショックの経験により、予想に反して石油価格も安定し供給についても安定したものとなった。

今後も石油の最大の生産地域である中東では、依然として政情の不安定が続いていることから、政治的安定化を図ることが国際的な緊急課題となっている。

「平和ボケ日本」と言われている我が国においても中東戦争をきっかけに自衛隊の活用などについて国会で論議しているところであるが、大いに論議を尽くして我が国の防衛のあり方、法の見直しなど抜本的改正を図っていくようにし、国際的にも批判の対象にならないよう改善を望んでやまない。中東戦争は我々に、よい教訓を残してくれたと思うのである。

皆んなの前ではラッパも上がり気味

表彰受賞

平成三年度総会において受賞された方がたをご紹介いたします。

（敬称略）

一・札幌連合会長賞

(1)（感謝状）

隊友会に貢献された団体、会社に贈られる。

安藤商店

大日ブラボード

(2)（個人、表彰状）

福田　忠吉

二・岩見沢支部長賞

（表彰状）

隊友会に貢献された会員

川上　和男　望月　真

岡部　久　池田　郁造

五十嵐堅治　堀井　恭二

松本　忠雄　川東　岩男

海野　繁夫　合田　実

橋本　了

お知らせ

平成三年度通常総会で下記のように理事が決定しましたのでお知らせします。

隊友会岩見沢支部（平成三、四年度）理事

役職名	氏名	電話番号
理事	福田　忠吉	23-3941
〃	笹　豊秋	23-9747 22-2351
〃	山口　博千	23-6119 01256-5-4117
〃	大掛　忠	23-2137 22-1603
〃	田中　久	23-3844 22-3030
〃	川東　岩男	23-4426 23-5055
〃	橋本　了	22-5577 22-5546
〃	戸出　久男	23-1728 23-7788
〃	相川　芳男	23-1996
〃	高田　登	23-3772
〃	坂田　和幸	23-5008 22-1050
〃	細川　金治	25-6445 25-2031
〃	加藤　和美	22-2077 22-6655
〃	黒田　悟	22-5471 01266-3-4200
〃	佐藤　育男	23-5013 22-3445
〃	岡部　久	24-1141 22-8067
〃	松田　光雄	23-6018 25-6010
〃	小林　良一	23-3843 22-3158
監事	松本　忠雄	23-2254 22-3131
〃	弥永　司	23-6056 22-3131
会計	小山　正司	23-5843
庶務	竹本　重幸	23-3428 24-4255
事務局長	浅沼　祐市	24-1623 25-1096

隊友会雑感

副支部長　安藤富夫

早いもので隊友会に入会してもう八年、あの豪放磊楽な故谷口支部長のもとで、庶務理事として会運営のお手伝いをしていたころ、正月になると、故吉田会計理事とともに支部長宅に呼ばれ、酒を酌み交わしながら一年間の反省をし、計画を立てたりまた、いろいろと教えを仰いだりしたことが昨日のことのように思い出される。

当時は、支部第二期創世期で支部自体が気弱な組織だったこともあり、支部運営に当たっては部隊から多大な支援をいただいていた。窓口が募集事務所ということもあり、小林さん（現会員）には、運営上の事務作業はすべてやってもらうなど大変なお手伝いをしていただきました。そんな関係から役員会はいつも、募集事務所で行なわれていたのですが、雲仙岳の噴火で思い出したのですが、一九七七年八月の暑い日だったと思います。役員会の最中に突然ぐらっときて一瞬、一同気色ばむほどの地震だった。それが有珠岳の大噴火で、その夜岩見沢も降灰に見舞われたことをとにかく、当時は、部隊と支部の関係は緊密だったと記憶している。

駐屯地内で行なわれた花見（雨天のときは器材庫を使っての）勝てるはずがないのに現職隊員とのソフトボールの交歓試合、（最も試合後のジンギスカンが楽しみだったのだが）部隊のバスを借りての駐屯地見学や研修旅行、部隊への俸給袋の寄贈や各種行事の参加、戦技大会の優勝旗やカップ、トロフィーやメダルの贈呈、さらにはスナックやクラブを借りきっての隊友の集いのときは、司令も一緒にゲームに興じてくれたものでした。

しかし、いつのころか部隊の方針が変わり、隊友会に対しての支援がなくなったころから支部活動も低迷し始めた。

考えてみると支部自体が独り歩きができていなかったためだと思うが、そういう時代を経て、岡田支部長　浅沼庶務理事の歯車が合い始めたころから支部独自で活動のできるようになってきた。

この間の浅沼庶務理事の苦労は大変なものだったと思うがようやく自立し、独自で活動ができる支部になった今日、第三期成熟期に入ったのかなぁと感じている。

しかしながら、部隊と隊友会は、表裏一体なものであり同じ釜の飯を食った同志として、これからもより一層そのきづなを強くしていくものと思うし、退職者の増加とともに組織の拡大を続ける隊友会の前途に今までとは違った役割も生じてくるだろうが、それ以上の夢も託して、より一層の団結と発展を願うところであります。

お礼

最後になりましたが、この度の市議会議員選挙におきましては、隊友会はもとより現職隊員の皆様には大変なご支援を賜り、四度の当選をさせていただき有難うございました。

選挙期間中には大変ご迷惑をおかけしたこと、お詫びとお礼を申し上げ寄稿させていただきました。

あとがき

島原大変は、今から約二百年前に大爆発を起こし大規模な災害をもたらした。

今回はまた、雲仙、普賢岳が爆発し相次ぐ火砕流や土石流は大惨事を巻き起こした。

こうした中にあって自衛隊の活躍が一段と目を引く。

被災者の方々のご心労はいかばかりかと、察するとともに今こそ自衛隊の真価を発揮してもらいたいと期待している。安全第一にこれからも頑張ってもらいたい。

創立記念日迫る！

9月22日（日）於岩見沢駐屯地

主　催……岩見沢駐屯地
共　催……岩見沢協力会隊区連合
　　隊友会岩見沢支部

公式行事
記念式典、観閲行進等

アトラクション
訓練展示、戦車・ジープ試乗
巨大迷路、陶芸即売
模擬売店、その他etc

とき…9月14日～9月16日
ところ…西友（岩見沢店）

自衛隊スナップ写真展

株式会社 本堂建設工業
取締役社長　本堂春夫
本社　三笠市幾春別町4丁目
電話 (01267)(代)6-8288　FAX (01267) 6-8030
札幌支店　札幌市白石区本通1丁目南1
電話 (011) 861-1381　FAX (011) 865-5034
石狩支店　石狩町花川南1条1丁目11
電話 (0133) 73-3111　FAX (0133) 73-0757

時代を一歩リードした
中庭のあるモデル住宅
柏崎建築設計事務所
建築請負 柏崎建設株式会社
代表取締役 柏崎照朗
会社　岩見沢市11条西1丁目
電話(代)23 2129番
木工場　岩見沢市東山町
電話24 1725番

HiBa
千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉嘉男
岩見沢市東山町22番地71
電話 (0126) 24-4567番

北の大地に鍛える各種競技会を実施

家族を招いて 架橋、炊事、ラッパ競技会

第十二施設群は、五月十二日、北海道大演習場恵庭地区において一般市民、隊友会、隊員家族等四十五名を招き架橋、炊事及びラッパ競技会の公開訓練を行った。

今年の競技会の特徴は、錬成時間を与えずに実施して、日頃の訓練成果を見るもので、各中隊とも前日まで各種作業、工事等の他、恒常業務も行っていた。

架橋競技会は、昨年同様M4A2ボーク固定橋（七メートル橋）を架設。所要時間と正確さを競った。

競技の結果、第三三七施設中隊が所要時間一時間十五分で優勝した。

炊事競技会では、酢豚の統一献立と山菜料理（材料自由、一品）で競われ、競技の結果僅差で本部管理中隊が優勝した。

また、ラッパ競技会は、特科団から審査員三名の支援を受け、団体・個人戦を実施し、団体戦では第三三五施設中隊、個人戦は本部管理中隊の榊三曹が優勝した。

なお、公開訓練に参加した四十五名は各種競技を応援するとともに山菜狩り、戦車試乗、炊事競技会献立による会食等を実施して親親を深めるとともに、訓練等に関する理解を得る意義ある公開訓練となった。

さらに、訓練を見学した前期新隊員は、施設の厳しい訓練ぶりに、職種希望「施設」が激減し教官の肝を冷やす場面もあった。

架橋競技会

群持続走競技会実施 第三三七施設中隊優勝

七月九日、名寄駐屯地隣接の演習場で今年度第一回目の群持続走競技会を実施し、第三三七施設中隊が優勝した。

競技会は、中隊の平均タイムで競われ、各中隊とも勤務員以外殆ど全員が選手。コースは、演習場の起伏に富んだ六キロコースで、前半は、ほとんどが上り。後半は平均的に下りながら起伏が三ヶ所もあり、条件の厳しいコースであった。

また、当日は気温も高く、練習不足も重なって選手にとっては苦しい競技会となった。

その中にあって、第三三七施設中隊は中隊全員が健闘し平均タイム二十四分五十二秒で第二位の第三三六施設中隊に平均タイム十九秒の差をつけて優勝した。

持続走

群通信競技会 本部管理中隊優勝

七月九日、持続走競技会に引続き有線・無線による競技会を実施し本部管理中隊が総合優勝をした。

競技会は、有線の構成と暗号による無線の送・受で所要時間と正確さで競われた。

有線構成では、本部管理中隊が迅速・確実に作業を行い、二位以下に大きく差をつけた。

また、無線の送受では、第三三七施設中隊が優勝した。本部管理中隊が僅差で総合優勝をした。

通信競技会

障害の構成の部 三三五施中 掩体構築の部 三三七施中優勝!!

六月二十日、北海道大演習場千歳地区で障害の構成（地雷原の構成・対戦車壕の構築、道路破壊）の競技会を実施し、第三三五施設中隊が優勝した。

また、同日、北大演千歳地区において掩体の構築（一〇六RR掩体の経始・測量・掩壕の構築）の競技会を実施し、第三三七施設中隊が優勝した。

各中隊は、日頃から迅速・確実に作業が出来るよう創意工夫して独自の作業方法を行っている。

競技会では、各中隊とも分隊長の適切な命令・指示により、独自の作業方法で迅速・確実な作業を実施した結果、勝敗は僅差で決した。

掩体

駐屯地で相次ぎ体験入隊

駐屯地では、六月中、相次いで三団体の生活体験入隊を実施した。

まず、十五日にJR岩見沢駅の野中駅長以下管理職十五名が第三三六施設中隊の担当で一日体験入隊。

十五日から十六日には、地元の青年団体「岩見沢二世会」のメンバー二十名が二日間、第三三七施設中隊担当で実施。

続いて二十二日から二十三日には「岩見沢市青年団体協議会」十五名（女性四名含む）のメンバーが来隊し、第三三五施設中隊担当で自衛隊生活を体験した。

来隊した体験入隊者には自衛隊の被服が貸与され、参加者は、迷彩服、半長靴に鉄帽、

岩見沢二世会隊内 生活体験入隊を担任

中隊は、六月十五日・十六日の二日間岩見沢二世会に対し隊内生活体験入隊を実施した。十五日一五〇〇に移動完了した二世会の面々は、平均年齢三十一歳の"精鋭"ぞろいであり、早速交付を受けた迷彩服に身を包み基本教練に汗を流した。

夕方からは、駐屯地司令はじめ日を同じくして生活体験中のJR岩見沢、自衛隊とのジンギスカンを囲んだ懇談会を行い、和気あいあいの雰囲気の中相互の信頼を深めた。

翌日は、恵庭演習場において七三戦連の支援を受け戦車の体験搭乗と性能・サスペンダーを装着した本格的ないでたちで登場し、基本教練、体力検定、各個の戦闘訓練、ロープ訓練等のメニューをこなした。

偽装の仕方では、隊員顔負けにドーランを塗って化粧し、お互いに顔を見合わせては吹き出し笑い転げていた。

その中で、四名の女性はさすがに化粧が得意とみえて、その変貌ぶりは見事？であった。

体験入隊は久しぶりの事で、担当する各施設中隊も試行錯誤の準備、実施となったが体験入隊者は隊員と一体となって全課目のメニューを完全にこなし苦しくも楽しい貴重な体験をし無事終了した。

諸元の説明を受けたが、初めての体験に感激することしきりであった。

今回の生活体験者は、比較的年齢が若かったため「もっと厳しい訓練を」と言う意見もあり、次回におおいに反映したいと思う。

第三三七施設中隊
一等陸尉 鈴木英明

体験入隊

駐屯地司令杯争奪少年野球大会 志文ふじ団地子供会 初優勝

駐屯地では、六月三十日少年野球の準決勝及び決勝戦が駐屯地野球場で行われ、志文ふじ団地子供会が初優勝の栄冠を得た。

今年、少年野球大会に参加したのは市内子供会の二十個チームで、六月二十三日、開会式に引続き大会長（駐屯地司令）の始球式で試合開始。天候にも恵まれ、約一週間で合計三十六試合を行った。

今年の大会は、トーナメント方式で行い、敗者復活戦も合わせて各チームとも必ず二試合が出来るように配慮した。

各試合とも白熱した試合が展開され、一点を争う投手戦、追いつ追われつのシーソーゲーム等々、大人顔負けの激戦となった。

また、応援に駆けつけた父兄等は一生懸命に白球を追う我が子、我がチームの応援に声をからしていた。

成績は次のとおり

優勝　志文ふじ団地子供会
準優勝　上幌向子供会
第三位　幌向北子供会
第四位　南町新光子供会
第五位　日の出こぶし子供会
第六位　春日第二子供会
第七位　幌向中央子供会
第八位　鳩ケ丘子供会

飲酒運転追放

自覚していますか

一億総免許時代と言われる昨今、自動車免許保有者の数が六千万人に達したそうです。

また、技術の進歩につれ車両のスピード化も進み、過密化した交通状況の中一歩間違えば重大事故に発展する可能性も確実に増大しています。

酒を飲んで運転することは、例え自分では酔っていないつもりでも、

一　安全運転に必要な判断力が低下する。

二　抑制力がなくなり、危険に対する警戒心が薄くなり、スピードを出し過ぎたり運転が上手くなった錯覚さえ起します。

このように、重大事故を起す原因である事は、言う迄もありません。

最後に、飲酒運転に過失はありません。全て本人の故意によるものです。

『飲んだら乗るな』『乗るなら飲むな』この習慣をしっかり身につけましょう。

第十一師団管内会計隊小火器射撃競技会

個人上級の部　第3位
佐久間　曹3

六月六日真駒内射場において、北部方面会計隊隷下七コ会計隊が集い、第十一師団管内会計隊小火器射撃競技会が実施された。

その競技会において、第三二七会計隊佐久間三曹は、持ち前の射撃に対するセンスと、射撃予習等のひたむきな努力が実を結び、みごと個人上級の部で第三位に入賞した。

成績は、五十点満点四十点であり、あと二点で優勝という極めてすばらしいものであった。

新隊員教育 後期教育にはげむ

第十二施設群では、四月に入隊した二十五名の若人に対する新隊員前期教育課程は六月十六日、渡辺省一衆議院議員をはじめ、多数の来賓及び父兄等三十名を招き、教育修了検閲を実施するとともに教育修了式を盛会に挙行し、自衛官としての晴れの門出を祝った。

また、二十八日、全国から集まった三・四月隊員（四十一名）の後期教育の入隊式を行い、現在、一生懸命教育中である。

教育は九月十三日までで、教育修了後には、岩見沢駐屯地で育った隊員が全道各地で活躍することを期待している。

初めての爆破訓練

二等陸士
工藤智彦

「下手をすると本当に死ぬぞ」と班長に言われてから、爆破訓練当日が近付くにつれ恐くなってきた。

いくら、練習通りにすれば大丈夫と解っていても不安であった。

そして当日、最初は非電気雷管を使用した起爆準備で、これが一番恐く思えた。

振動、熱等で破裂してしまう雷管に導火線を装着する作業で、装着するため雷管をつぶすというのは勇気のいることでした。緊張のあまり、しっかり雷管をつぶせず助教に迷惑をかけてしまった。

電気雷管の時は、少し落ち着いて作業が出来た。

爆破訓練を通して感じた事は、教官、助教の教えをしっかりきいて、その通りにやれば、なにも恐くないと思った。

道北研修旅行

二等陸士
菊地義則

僕達は、十九日から二十一日の間、天塩町まで行き、三三七施設中隊の仕事を見学してきました。

一日目は、半日トラックのなかで過ごしたせいかあっという間に一日が終った。

二日目の朝は海に行き中隊の仕事を見学しました。仕事の内容は、コマ型ブロックを砂の中に入れ埋めるはずだったが、なぜかその仕事も見ずに終ってしまった。

それから約二時間かけて稚内市に行き、道北地区の見学研修。流氷の門、宗谷岬等を見学し、夜は、一日の感想をみんなで語りあった。

三日目、朝六時に起床して出発し約六時間で岩見沢に到着した。

楽しかった研修旅行でしたが、やっぱり岩見沢が一番だとこの時思いました。

付准尉奮闘記

第十二施設群教育隊
准陸尉佐々木努

第一期の名寄武者修行の後、平成二年三月、第十二施設群教育隊の付准尉を拝命した。

平成二年三月隊員の入隊式の日が偶然にも長男の入社式の日でもあった。

一人の息子に代わって三十五名もの息子が増えた。

その後、新隊員教育6回、陸曹候補修前教育一回、中級陸曹教育一回、中堅陸曹集合教育一回が過ぎ、この間、息子達が二百五十人も通り過ぎて行った。

隊長、教官以下区隊要員と本部要員が一団となって、教育生の掌握、教育に努めました。名前と顔が一致しない内に次の教育生が来たこともありました。

また、教育生に惑わされ札幌・長万部・函館・青森・東京周辺をさ迷ったこともありました。

「隊員の教育は三十年先を見てしなければいけない」と言われております。気を長く持って、自分の新隊員当時を思い、迷い、悩み選択した道程の乏しき経験と現代の流行の中から得た私の愚言が、この息子達に自分の信ずる道の選択の一助となればと、日夜思いめぐらしている昨今である。

安心しっかり
愛車もしかっり
車検費用積立プラン
富士火災
担当　松浦直樹
岩見沢支社　Tel 23－5142

宝石 創業83年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
㈱太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126㉒3353 ㉒3354

訓練検閲に参加して

本部管理中隊整備小隊
陸士長 斎藤 護

平成元年三月自衛隊に入隊して検閲といえば、新教の前後期検閲受閲だけで、一昨年は右足首の靭帯損傷で不参加、昨年は自訓所入所中で不参加と、実動部隊の検閲に参加できなかったことがとても気がひけていました。

しかし、今回の検閲に参加できたことで検閲の厳しさ、苦労等色々な事が勉強出来ました。

普段営庭に建てた整備所天幕しか見た事がなかったが地盤の弱い砂地に建てると色々なトラブルが起きることがわかりました。

こんな中でも班長のてきぱきとした命令、指示、いつもとはひと味違う感じがしました。「やる時はやる」と言う言葉がぴったりでした。

それから次々に起こるトラブルを難なく処理し、命令し、また新たな整備を完成し、寝る事を忘れたかのようにやり遂げて行く先輩の素晴らしい姿を見て、自分もいつか・・と決心しました。

本部管理中隊通信班
陸士長 片山英樹

群長が実施される本部管理中隊の訓練検閲が六月十一日から二夜三日にわたり北大演で実施されました。

今までは、小隊、班単位の受閲だったのが今回は、中隊として検閲され、今までにない形式で実施されました。

私は、通信班の一員として参加、有線構成及び信務作業を主とした任務につきました。

有線構成は、通常二名一組を二組の四名編成で実施しますが今回は人員不足から、自分を含む二名で、トール回線を含む十回線を構成する任務を与えられましたが、大変なミスを起してしまいました。

七回線を構成した時点で有線構成完了と勘違いしてしまい残り三回線の構成を忘れるという大失態をやってしまいました。

結局、本当に構成を完了したのは完了予定時刻を一時間半も過ぎてしまい、これが通信班の評価に大きく影響したのは云うまでもありません。

これを教訓にして、これから有線構成の任務に付く時は構成した所を一ヶ所ずつチェックして、構成を忘れないようにしていきたいです。

平成三年度 駐屯地バレーボール大会に参加して

業務隊
二等陸曹 裏 康治

本年度初めての駐屯地球技大会が、さる四月二十二日に実施し、我が業務諸隊チームが、各中隊チームに僅差で勝ち進み決勝戦では、器材中隊とのフルセットを行ない、接戦の末勝利を手にしました。

そんな中で、今大会では、昨年より戦力アップがあり、各諸隊等により、選手を選び大会前にチームプレーの練習を二回程度実施、その中より六人の人選をしました。

その中で、今年三月の異動で、業務隊に配属になった松山一曹が、チームのエースとして活躍、全員が一つの目標に「一致団結」し、優勝に向って進みました。

全試合の中でチーム全体が、得点差が開くと、年齢的なものではありませんが、疲れが目だち相手のチームのペースになる事がありました。

そんなとき、チーム内でだれともなく声を出して、全員が団結心を奮いおこし、積極的に攻め、執念と根性で戦った思いでがありました。

今後、この大会を通して業務諸隊が団結して、日常の業務に向け頑張って行きます。

隊員紹介

三曹
石川信明

第三三七施設中隊石川信明三曹を紹介します。

石川三曹又は、体操三曹とも隊員の間で呼ばれるほど、大きな声、大きな動作で常に元気、時には周囲の人の耳が痛いほど。

第三三七施設中隊の石井候補生でした。

戦技競技会に参加して

第三三六施設中隊
二等陸士 佐藤謙五

六月二十日、朝からまた、あわただしい一日が、始まりました。というのも六月十七日から二十日まで、三三六中隊は伐採とRC工事をやりながら競技会の練習していたのです。

それに、自分は中隊に入って初めての競技会、コルゲートと道路爆破にでることになったのです。

初めてやるコルゲート、練習を二回しかやらず、どうやっていいのかわからず、とまどってしまいそれでも頑張ってやりとげました。

終わった時、やりとげたなぁと言う実感と終わったと言う開放感で、すがすがしい気分でした。

もっと練習すれば優勝出来たかもしれないと思い悔しい思いをしたのは、私だけじゃないと思います。

中隊所属以来、初めての戦技競技会に参加し、次の機会には、必ず優勝出来るように頑張りたいと思います。

生活体験入隊を受け持って

第三三五施設中隊
陸士長 則元直樹

六月二十二日から六月二十三日の二日間、岩見沢駐屯地で行なわれた、生活体験入隊の一班の班長助手として、受け持ちました。

今回の体験入隊は、一度おせわになっている岩見沢青年団体協議会のメンバーでした。

実は、自分も岩青協のメンバーなのですが、一度も参加したこともなく、顔も知らなく、しゃべったこともなく、まして一般の人達を教えることも初めてで、不安と戸惑いでいっぱいでした。

まず最初に、ヘリコプター体験搭乗、これには、同行しなかったのでわかりませんが、後で聞いて見ると結構楽しかったそうです。

午後になり、顔を合わせると人見知りをして、会話が少なく「だいじょうぶだろうか」ということが頭の中に浮かびました。

その不安も基本教練が消してくれました。

一般の人は、基本教練なんかやったことがないので、一度やってもその通りには、できなく、一人かまちがえると笑いがではじめ、だんだんとまとまりが出てきました。

基本教練も終わり、楽しみにしていたジンギスカンが始まりました。大勢で一つのジンギスカン鍋をかこみそれを食べて団結は、最高に達しました。

その最高に達した団結が最後まで続き、次の日の、課目もすべてこなしました。体力検定、戦闘訓練、陣地攻撃では、教えてもいないほふくをするなど、結構みんな自衛官になりきっていました。

最後に、体験入隊した隊員・基幹要員も普段では、味わえない体験をし、一人一人が自分のためになったような気がします。

また、このような機会があれば、参加したいと思います。

部外工事に参加して

第三一二施設器材中隊
三等陸曹 相原良憲

私は、過去に四回の部外工事に参加したことがあり、又、当中隊の特性も含めてこのような場の雰囲気には慣れているせいもあり、とても充実した仕事ができたと思っています。

今回の工事は、ダンプ車両での土砂搬入作業を主として実施し、私は裏舞台でバケットローダ操縦陸曹として技術の向上を目指し、当中隊オペレータの口ぐせである「喜ばれる作業」を目標に実施し、事故も又ケガもなく終了を目前にしていることはとても喜ばしく本集成作業隊全員特にうれしく思っていることでしょう。

今後もまだこのような機会があり私達は、その場その場の作業を一生懸命がんばり、その地域全体に貢献させて頂きながら自衛隊施設科の任務を遂行させるとともに技術の向上を目指しいち早く部隊に役立つ一人になることを目標にがんばっていきたいと思います。

月形花の広場に参加して

第三三六施設中隊
二等陸士 木下 稔

私は、初めて月形花の広場に参加しました。

参加して思った事は、月形の人達が町を良くしようとする気合が強かったのには、びっくりしました。

それとは反対に、「なぜ町のためにこんな花植えなんかやらなきゃいけないのか」と心の中でつぶやいていました。

でも、いざやって見ると、これも岩見沢駐屯地、いや三三六中隊長の名誉にかけても素晴らしい物にしたいという気になりました。

町の人達とはあまり話はしなかったが、花植えを通して何か伝わった気がしました。

昼からのジンギスカンが食べられませんでしたが、来年に向けてジンギスカンが食べれるのを楽しみにして月形の人達には、ご苦労様といってあげたい。

近江建設株式会社
特定土木建設許可・一級建築士事務所
本　社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23－3026
支　社 三笠市唐松町1丁目374 電話2－3179
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
ロジエ札幌25 806号室　電話011-222-5359
営業所 三笠市幌内本沢町 電話2－5403

新たな「出発」を前に

下浅一曹夫人　下浅明子

独身時代のルンルン娘だった私も、今では二児の男の子の母親になりました。「まさか」と思っていた北海道に嫁いで早八年、冬は雪と奮闘する毎日でした。北海道に来て一・二年はよく道の中央で滑ったり、ソリに乗せた子供を振り落として泣かせてしまったり、何度も滑って転んでの二年でした。私の主人はスキーの選手ですが、これはシャレにもなりません。

子供は、北海道生まれで北海男児らしく「雄大」と「地広」と名付けました。みずみずしい穏やかな心根の人になって欲しいと願います。日常生活の中で子供達は、見るもの聞くものすべてを吸収する年齢になりました。親たる私の言動はと、ちょっと心配になるこの頃です。

もうすぐ私達家族の新しい出発の時を迎えます。北海道で素敵な出会いが数多くありました。主人一人だけを頼りに来道した八年前、今では多くの友人、職場の方、近所の方に助けられて楽しく暮らしました。たくさんの良き思い出を胸に、主人と子供たちと四人で新転地で頑張っていきます。また素敵な出会いが待っていることを信じて。

家のお父さん

岩見沢基地通信隊　小六小山田圭志

小六　小山田圭志

ぼくのお父さんは、子供を動物に表わすのが好きで、犬とか、さるとか、よびます。そして、何もかも自分の意見第一として、引く事を知りません。すごくき帳面に見えるときもあるけど、本当のお父さんは、おそろしい。二重人格ならともかく、三重も四重も重ねに重ねた人なのだ。

ある時は、お兄ちゃん達を集めてぼくをいじめ、またある時は、ぼくのガス銃でぼくを打ち、ひどい時には、訳もなしにひっぱたいて、ぼくたちをおもちゃだと言ってふざけている。

おまけに短気で、ぼくを二日に一回いじめないとストレス解消できないようなお父さん。短気でぼくをいじめるお父さんにも、尊敬する所がある。それは、何事も最後までやる事、頑張り通す事。普通の事かも知れないけど、ぼくはそういうお父さんが大好きです。

体験入隊に参加して

岩見沢青年団体協議会　金戸三佳

自衛隊体験入隊が、岩青協の行事として、一泊二日にかけて行なわれました。

一日目は、ヘリコプターに乗り午後から基本教練が行なわれました。

ヘリコプターには、前回乗らせてもらったので、それほど恐怖感や、緊張感はなかったですが、午後から行なわれた基本教練で、「くるんじゃなかった。」の後悔の渦にまきこまれ、忙しい中、岩青協につき合ってくれている自衛隊さんが皆鬼に見えたのがこのときでした。

親睦会として夕食にジンギスカンが用意され、一日の疲れが飛ぶぐらい、楽しいものでした。

二日目は、息ずる暇もなく、日程がこなされ、体力検定、大砲などの武器見学、武装し、ロープ渡りなどが行なわれました。

体験入隊を終えて

岩見沢青年団体協議会　川島孝幸

私は、今回の体験入隊で、自衛隊の厳しさを改めて感じさせられました。

私達が、体験入隊で行なった訓練は、決して楽だったとはいえませんが、隊員は、かなり厳しい訓練を毎日怠らないと聞いて、他のどんな仕事以上に、大変な職業なのだと思いました。

私達が最初に行なった訓練は、基本教練と言って、それを見ただけで隊の質の善し悪しを問われる訓練でした。

一日目の訓練を終えた夜は、隊員達との交流も兼ねた食事を取りました。そこでは、訓練中は見ることの出来なかった、隊員達の素顔？を少しだけ見ることが出来ました。

二日目の体力検定は、普段運動不足のせいか、後で体のあちこちが、大変痛くなりました。二日間の訓練を通して、隊員の日頃の努力や自衛隊の厳しさを実際に体験でき、とてもいい経験になりました。

午後からは、二チームに別れ、相手の旗を取る、陣取合戦が行なわれ、いつもだと足がすくんでしまうヤブの中を堂々と草をかき分け歩き、勝利へつなげました。

この貴重な体験を通して、少人数ではありましたが、自衛隊さんとの交流が嬉しく思います。

来年もこの行事があるとしたら又参加したいです。

駐屯地司令杯少年野球大会

上幌向　細川英剛

ぼくは、自衛隊杯に出場するのは二回目でした。

去年は、五年生で六年生のせんぱいたちとでて優勝をしました。

今年は、キャプテンとして春からいっしょうけんめい練習をしてきて、自衛隊杯がはじめての子供会のこうしき試合でした。

一試合目は、日の出東とあたり、まず一勝できたのでうれしかったです。

二試合、三試合、四試合となみにのり勝ち進みました。そして決勝は、ふじ団地とあたりおしくも十対十三で敗戦しました。

みんないっしょうけんめいがんばってくれたので、くいはありませんでした。またぼくは、優秀賞をいただきうれしかったです。

また来年、後輩たちにがんばってもらいたいです。

自衛隊杯について

上幌向子供会　宮腰陵平

六月二十八日、自衛隊杯が始まりました。

僕たち上幌向子供会は、今まで負けっぱなしで、今年は一度も勝っていませんでした。

だから、この自衛隊杯で一回は勝ちたいと思っていました。

一日目の試合で僕たちは、みんなも調子がよかったので、守るのも、打つのもみんなよかったです。

しかし、最終回に大量得点をとられたので、僕は「また逆転負けか」と思いました。でも、こっちも点を入れていたので念願の初勝利をおさめました。

二回目の試合ではピッチャーの球もおそく、しゅびもあまりうまくなかったので、僕たちはどんどん点を入れて、コールドで勝ちました。

二日目の試合も楽に勝てました。

三日目の第一試合南町新光子供会で、このチームは正選手がかけていたのでなんとか勝てました。

いよいよ決勝です。決勝の相手は志文ふじ団地子供会です。

ピッチャーもうたれてしまって、しゅびもあまりよくなかったので負けてしまいました。

閉会式の時、優勝した志文ふじ団地がメダルをかけてもらいました。

僕たちもメダルがもらえるかと思ったけれど、しょうじょうだけなので、がっかりしました。でも、準優勝をしたのでとてもうれしかったです。

協力していただいた自衛隊のみなさんへ

ふじ団地子供会一同より

このたびは、野球の試合に協力いただきまして、まことにありがとうございました。

僕たちは、優勝金メダルを大切に保かんしております。

僕たちは優勝したその後も今まで以上に練習に練習を重ね悪いところを次々とおしております。

自衛隊のみなさん審判をやってくれたり点をつけてくれてどうもありがとうございました。今後もバリバリ練習していくつもりです。

応援していただきまして本当にありがとうございました。

駐屯地詩吟部の紹介と段級審査で全員合格

第三二七会計隊　陸曹長　坂田茂俊

(1)　駐屯地の詩吟部の紹介

岩見沢駐屯地詩吟部は部長坂田曹長（会計）（北海道詩吟連盟師範、朝翠流師範、ビクター吟友会所属）　副部長葛西二尉（業務隊）（恵山流上席師範）の卓越した指導のもと会員十数名が力一杯大きな声を出し熱心に練習に励んでおります。

詩吟部は過去、北海道詩吟連盟主催による全道競吟大会（札幌道新ホール）において、独吟（一人）の部で優賞及び上位入賞を数回出し又、合吟（五人一組）の部では、五年連続二位に入る等、道内詩吟の仲間より高く評価されており、輝かしい伝統があります。

(2)　段級審議会で優秀な成績で全員合格　六月二十三日（日）北海道詩吟連盟による、上期審査会が岩見沢市民会館中会議室で行なわれ、我が駐屯地から四名が受審し、優秀な成績で全員が合格しました。

合格者は、次のとおりです。

準七段

第三一二施設器材中隊
陸曹長　小関誠

二段

第三二七会計隊
三等陸尉　加藤秀一

同

二等陸曹　宮本元

準二段

第三二七会計隊
三等陸曹　佐久間真司

"初心者歓迎、お待ちしてます"

栄光をたたえて

四級賞詞（通信群長）
第三一四基通中岩見沢派遣隊
二曹 小山田由雲（6・15）（職）

☆☆☆昇任・合格おめでとう☆☆☆

◎第十二施設群◎

☆一等陸尉へ
岡本 美弘
鈴木 英明

☆二等陸尉へ
土谷 修

☆准陸尉へ
金沢 光雄

☆陸曹長へ
溝江 武雄
藤原 恒雄

☆一等陸曹へ
開藤 重則
児玉 光二
山内 克彦
増田 義人
新原 義矢

☆二等陸曹へ
番井 薫
前田 憲一
吉田 光広
風間 章
村上 治雄

☆三等陸曹へ
三浦 章博
四関 英則
奥村 篤広
山田 和人
吉田 重孝
斉藤 武彦
木村 清広

☆陸曹候補生へ
奥田 浩一
西村 貞幸
中島 雅志

◎業務隊諸隊

☆三等陸佐へ
川崎 大輔

☆一等陸尉へ
蔵本 久男

☆二等陸尉へ
葛西 正浩
加藤 秀一

☆陸曹長へ
甲斐 八雄

☆一等陸曹へ
納谷 憲明

◎事務官等の昇任◎

行（一）四級へ
大畑 宣之

行（二）三級へ
奥山 武
堀江 学

おめでた新婚さん

鬼頭 孝宏 妻 みゆき 4・18
中川 由 妻 由美子 6・22

こんにちわ赤ちゃん

宮崎 勝彦 次男 良次 4・27
豊蔵 悟長 長男 将吾 5・4
池田 広明 次女 早希 5・9
熊谷 裕文 長男 豪士 5・14
佐藤 克二 長女 穂奈美 5・15
奥山 武 長男 勝也 5・24
柴田 周二 長女 給里子 6・26

定年退官

永い間ごくろうさまでした

第十二施設群本部
二尉 福村 長作 7・22付
岩見沢市日の出南4の2
就職先 岩見沢総合体育館

第三三五施設中隊
曹長 榎 秀勝 8・11付
岩見沢市日の出北4丁目13の7
就職先 北海道赤十字血液センター岩見沢出張所

第三三七施設中隊
曹長 阿部 重信 8・8付
岩見沢市日の出台2丁目
就職先 北海道オリジン

業務隊
三尉 三島 辰雄 8・10付
岩見沢市栄町1丁目51
就職先 西川繊維物流センター

本部管理中隊
曹長 三国 睦夫 8・31付
岩見沢市栄町1丁目四の4
就職先 北海道赤十字血液センター岩見沢出張所

人事往来

行く人 来る人

道外
二尉 斉藤 仲夫（福島）
一曹 渡邊 修（飯塚）
一曹 下浅 勝雄（船岡）
一曹 中里 昭一（大村）
二曹 二澤 昭光（福島）
二曹 奥見 正（船岡）
三曹 佐久間真司（桧町）
三曹 田河俊一郎（武山）

道内
一佐 寺村 誠士（東千歳）
二佐 古橋 治夫（真駒内）
一尉 篠原 正實（札幌）
一尉 西里 忍（丘珠）
三尉 伊知知征男（東千歳）
三尉 田中 均（南恵庭）
曹長 佐藤 隆（〃）
曹長 奥野 義郎（〃）
一曹 坂田 君雄（〃）
一曹 松井 義秋（〃）
一曹 西田 実（〃）
一曹 岳 節夫（〃）
一曹 望月 准（札地連）

駐屯地業務隊へ
一尉 大塚 悟（総務科長）
二尉 鳥村 昭彦（厚生班長）
二曹 小原 喜助（補給係）
三曹 中村 信之（三三七中）

*一佐 鈴木 通彦
（第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令）
*二佐 津村 隆夫
（第十二施設群副群長）
*一尉 寺島 利博
（第十二施設群一科長）
*二尉 三輪 正人
（第十二施設群衛生科長）

本部管理中隊へ
*曹長 小野寺 弘
*一曹 戸之口 宏行
*一曹 松園 俊郎
*二曹 重吉 一彦
*二曹 中濱 仁史

第三三六施設中隊へ
*三曹 高橋 清治

第三三七施設中隊へ
*三曹 千葉 春彦
*三曹 岡園 喜一

第三二一施設器材中隊へ
*一曹 山本 斌洋
*二曹 田代 徳久

岩見沢駐屯地業務隊
*一曹 中井 徳彰

第三二七会計隊へ
*三曹 高杉 良一
*士長 宍戸 進

第十二施設群新幕僚紹介

副群長

二等陸佐
津村 隆夫

防大（応化）十二期
北部方面総監部装備部（業務班長）を歴任
趣味 写真・アーチェリー

第一科長

一等陸尉
寺島 利博

生徒三期
十三施群～三施団本～南恵庭業務隊
趣味 マージャン

☆修学成績優秀者紹介

陸曹候補生課程戦技優秀
六中 士長 奥村 篤広
陸曹候補生課程功労賞
六中 士長 吉田 重孝
#9陸士特技課程（部隊暗号）
本管中 岸本 久生

☆部内競技会

駐屯地バトミントン大会
優勝 駐屯地業務隊
準優勝 本部管理中隊
第三位 第三三五施設中隊
駐屯地ソフトボール大会
優勝 第三三五施設中隊
準優勝 修親会
第三位 本部管理中隊

#20北海道自衛隊大会
一般男子B 第三位
・田川 学
少林寺流全国空手道選手権
自衛隊の部 優勝
・阿部 正義

各種競技会参加者状況

岩見沢市民一・五km
一般男子C 第二位
・鎌込 照也
南空知社会人選手権
一般男子三部 第二位
・松本 昌二
岩見沢市棋友会大会
優勝
・橋本 克三
岩見沢市加盟団体対抗テニス
自衛隊A 準優勝
・鎌倉 守
少林寺流全国空手道選手権
一般軽量級の部 第三位
・阿部 正義
全国詩吟コンクール北海道大会一般一部 入賞
・坂田 茂俊

・・・・・・だから
二人の時間を刻みたい
よろしければ・・・・
Iwamizawa Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

── コニカカラー百年プリント ──
カラープリント45分仕上げの店
カメラ ビデオの田沢
〈各種クレジットカードOK〉
岩見沢市1条西4丁目 ☎22-4848

サンプラザ ウエディングプラン
エメラルド
挙式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格！
ご両家ご負担 25万円
ホテルサンプラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788